

山口労基発 1021 第 1 号
令和 6 年 10 月 21 日

県内団体 代表者 殿

山口労働局労働基準部長



「労働局長による賃金引き上げのインタビュー動画」の御案内について

平素より労働行政の運営にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

厚生労働省では、生産性を向上させ、「事業場内で最も低い賃金（事業場内最低賃金）」の引上げを図る中小企業・小規模事業者を支援する国の助成金として、「業務改善助成金」をご用意しています。

「業務改善助成金」は、事業場内最低賃金と地域別最低賃金の差額が 50 円以内であることを要件として、事業場内最低賃金を一定額以上引き上げ、生産性向上に資する設備投資等を行った場合（県内導入例：食器洗浄機の導入、自動釣銭機、POSレジシステム、福祉車両、各種改修工事等）に、その費用の一部を助成しています。

この度、業務改善助成金について、より多くの方に知ってもらうため、労働局長によるインタビュー動画を作成しました。この動画は、賃金引き上げを行い、業務改善助成金を活用された県内企業を労働局長が訪問し事業主の方を取材したものです。

つきましては、会報誌又はホームページ等への掲載に御協力いただきますようお願い申し上げます。業務改善助成金については別添をご参照下さい。

どうぞよろしく願いいたします。

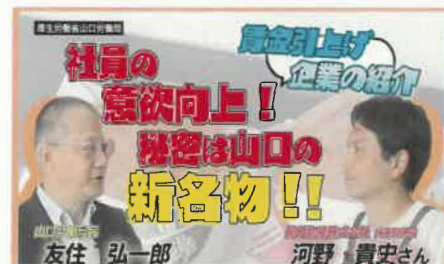
【動画視聴 URL】

<https://www.youtube.com/watch?v=f6A8Gtr-Bfg>

【QR コード】



【インタビュー動画】



担当 753-8510
山口県山口市河原町 6-16
山口労働局 賃金室
Tel:083-995-0372



業務改善助成金導入事例（その他の小売業）

業務改善助成金・導入前

従来、大判焼きを作る際は4カップフライパンで製造していたが、従業員1名がガスコンロ前に付きっきりで火加減の調整を行う必要があった。また、1度に4個しか製造することができず、大口の顧客に販売をすることが出来なかった。

導入後



【大判焼き機】

【大内人形焼き】

導入後・生産性向上の効果

- 一度に12個、3倍の大判焼きを製造可能となったため、大口の顧客にも販売が可能となり、生産性向上が実現した。
- 焼き上がりを自動調整することが可能となり、導入前のように従業員がつきっきりで作業する必要がなくなった。また、経験年数を問わず、すべての従業員が製造することができる環境が整えられた。
- 「大内人形」をモチーフにした型のデザインを導入したことで、従来の大判焼きから「大内人形焼き」という山口ならではの新たな名物が誕生した。

【事業場の概要】

長州物産株式会社
(山口市、従業員数 26名)

【導入内容】 大判焼き機及び備品一式の導入

【改善に要した費用】 1,770,000円

【助成金額】 1,593,000円

【申請コース】 45円コース

